



編集・発行
 日蓮宗 能勢妙見山
 広報部
 〒563-0132
 大阪府豊能郡能勢町野間中
 電話 072-739-0329
 FAX 072-739-2883

かい うん さい
4月20日 開 運 祭

新年度になり職場も学校も新たな出発の月となりました
 大きな希望を持っている人 ちょっぴり不安を感じている人
 妙見様は人生という道を安心して進めるよう見守って下さいます

【4月の主な行事】

- ★写経会 13日(日)11時
- ★清掃の日 15日(火)11時
- ★月例祈願法要 15日(火)13時
- ☆開運祭 20日(日)9時～16時
 この日限定の「勝利開運之守」を授与します
- ★鷗様月例祭 22日(火)15時

【5月の行事予定】

- ★写経会 11日(日)11時
- ☆妙見大菩薩年大祭 15日(木)10時30分
 修法加持特別祈禱を厳修 事前受付中です
- ★月例祈願法要 15日(水)13時
- ★鷗様月例祭 22日(水)15時
- 5月の清掃の日は休止します

◎ご祈禱・御回向等のお申込はFAX・メールでも受け付けています

◎写経はご自宅でもできます お問い合わせ下さい

◎送迎バス 奉賛会会員並びにご信者様の便宜を図り、能勢電鉄妙見口駅から山上までの送迎車を用意
 利用ご希望の方は、必ず2日前までに電話で連絡をお願いします 但しご希望に添えないこともあります

精神(こころ)の荒廃

新實信導

近年の豪雨は、河川の氾濫による浸水や山の崩落による道路や鉄道の寸断をおこす。その被害は甚大である。雨が降ると大雨にならないか気が気ではない。自然災害は自分で回避したくても自然が相手ではいつ襲ってくるか分からない。

また、私たちの生活にとつて不可欠な自動車も交通氾濫がおこり各地で渋滞がおこっている。とくに交通事故の発生件数は平成十五年の95万件をピークに、令和5年では30万件と減少したが、なくなつたわけではない。自分がどんなに気をつけてみても、相手があつただけに避けようのない災難が襲う可能性がある。さらに近頃はSNS等の普及により世の中は情報が氾濫し、私たちは情報に踊らされ心身を消耗し、やや

もすると消費生活に追いつかれ、心に余裕がなくなつていくように思える。

私たちはこの社会のゆがみや利己主義的な風潮に気づこうとしない。たとえ気づいたとしても、社会が悪いからだ、その罪を社会のせいにして政治家はなにをしていいのかと、他をのしることにしか考えない。

私論ではあるが、こうした政治の貧困が災害をまねき、やがて精神の荒廃がすすみ、ますます住みにくい世の中となつていく。そうした世相の中で育つたものが構成しているのが現代の社会であるのかも知れないということがあるのか。日蓮大聖人は『諸経与法華経難易事』に、「仏法よくやく顛倒しければ世間もまた濁乱せり。仏法は体のごとし世間はかけのごとし体曲れば影な、めなり」と教示されている。真実の仏法が損なわれ

ば、人の心も乱れ世の中も濁つてしまふ。仏法は体で世間はそれを映し出す影である。体である仏法が正しく理解されなければ、影である世間も傾くのである。社会が悪いと思う前に、己の心が荒廃していないかどうか自身に問い尋ねることが大事だといえよう。一人でも多くの人が正法である法華経を信じ保つことができればこの社会を救う近道ではなからうか。

開運祭

新年度の始まる4月。新しい環境で新しい生活が始まります。今までなかった事態に当惑することも少なくないでしょう。どうすればいいのかわからない。困難を切り拓き、新たなステージへ進もうとする人々に力を与え、運命を開いて下さるのが妙見大菩薩です。4月20日は「勝利開運之御守り」が授与される年に一度の日です。

《法華経に学ぶ現代》

〜純智庵〜

邪見の法に

住して

善の

儀則を

識らず

『化城喻品第七』

誰もが欲しい

お金です

だけどお金は怖いもの

人の心を奪います

後悔は

先に立たずというけれど

お金の亡者になる前に

銭より善に

目覚めましょう

因果は

確かにありますよ

知識まめ仏教

無垢(むく)

若い夫婦の門出を祝うのは、当人でなくても心改まるものだ。

結婚式の花嫁という「白無垢」の姿が思い浮かぶ。神聖な儀式などでは、古来から身も心も汚れていない証として、表裏すべて白い無地の布で仕立てた着物を着た。

無垢というのは、仏教では煩惱のない清浄なことをいう。垢とは煩惱のことで、仏教の究極の目的である悟りを妨げ、つまり心身の働きを妨げ、つまずいて人間を苦楽の世界に縛り付ける、あらゆる精神作用を指している。釈尊はこの悪い作用を除き人々を悟りに導くために教えを説かれた。後世になると煩惱を分類し、除夜の鐘にみられる百八煩惱説などが説かれる。無垢であることは難しいが、日々の垢を少しでも洗い落として過ごしていきたい。